

1. 科目名 (単位数)	国語 (書写を含む) (2 単位)		3. 科目番号	JNEL1411
2. 授業担当教員	新井 美也子			
4. 授業形態	講義、演習、グループワーク、発表		5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係				
7. 講義概要	国語科教育の指導目標である言語能力の向上について、幼児・児童の発達段階を踏まえ、学習指導要領や実際の教科書教材、絵本の分析から、実感的に把握する。どのような指導を行えば言語能力を向上させていくことができるのか、具体的な教材を用いることで言語能力を高める。			
8. 学習目標	(1) 国語科教育の歴史や意義を踏まえ、小学校学習指導要領国語科の目標及び内容について理解し、説明できるようになる。 (2) 言葉の機能や教科としての国語の特質を理解し、説明できるようになる。			
9. アサシメント (宿題) 及びレポート課題	1. アサシメント 適宜指示する。(筆ペンを用意しておく。) 2. レポート課題 (1) 授業における「今日の学習」等は毎回提出する。 (2) 参加型絵本の読み聞かせのシナリオ (3) 万葉・古今・新古今の桜歌と現代桜歌の共通点に関するレポート (4) 俳句 (毛筆清書) (5) アーノルド・ローベル他作品の多人数参加劇のシナリオ (6) まとめのレポート (期末試験) 課題の提出が遅れた場合減点対象となる。			
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 ① 沖森卓也編著『図解日本語』三省堂 ② 文部科学省『小学校学習指導要領解説 国語編』東洋館出版社。 【参考書】 ① 東洋館出版内閣府文部科学省厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領 幼稚園教育要領 保育所保育指針』チャイルド本社			
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1 国語 (日本語) 能力を高め、言葉の機能や教科としての国語の特質を理解したか。 2 話すこと、聞くこと、書くこと、読むこと的能力を養い、伝え合う力を高めるとともに、指導者としてふさわしい言語能力を身につけることができたか。 ○評定の方法 授業態度 (各授業における提出物、取り組みの積極性など) 50点 レポート 30点 期末試験 20点 上記のほか、本学の規定に定められている3/4以上の出席が単位の条件である。			
12. 受講生へのメッセージ	児童や幼児に言語の力を育成するためには、言語環境の整備が重要です。教師や保育士は最大の言語環境ですから、教師や保育士を目指す皆さん自身が言語能力に磨きをかけねばなりません。そのための授業です。目の前にいる児童や幼児に信頼され尊敬される指導者になるという自覚をもって、授業に臨んでください。 国語の基礎・基本の理論をしっかり学ぶ中で、自分自身の読む力、聞く・話す力、書く力を向上させます。また、様々なグループワークを通して、社会が新規採用者に最も要求している豊かな人間関係を醸成できるコミュニケーション能力も身に付けていきます。			
13. オフィスアワー	別途指示します。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第1回	1、オリエンテーション 小学校・幼稚園・保育所の場で求められる国語の力・言葉の力とは 2、学習指導要領改訂のポイント	事前学習	将来の夢についてスピーチできるようにしておく。	
		事後学習	幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領と国語科教育の関連についてまとめておく。	
第2回	1、国語教育の歴史 ・日本語教育と国語科教育 ・第一言語と国語 ・国語に関する世論調査にみる国語の課題	事前学習	国語に関する世論調査から何が課題になっているかまとめておく。	
		事後学習	国語の課題について整理する。	
第3回	1、日本語の発音や音の仕組み 2、参加型絵本の読み聞かせ学習の概要 (歌型・クイズ型・楽器リズム型・手遊び型他)	事前学習	教科書を熟読し、音声・音韻・音節・音節構造について概観しておく。	
		事後学習	単音と音素、音節とモーラ、特殊音素など重要語句についてまとめる。	
第4回	1、日本語のアクセントの機能・型・表記法 2、参加型絵本読み聞かせのシナリオ作成	事前学習	教科書を熟読し、アクセントについて概観しておく。	
		事後学習	日本語のアクセントの特徴をまとめる。	
第5回	1、文字の種類と漢字の基礎的知識 2、大型参加型絵本読み聞かせの発表	事前学習	教科書を熟読し、文字の種類や漢字の基礎について概観しておく。	
		事後学習	漢字の成り立ちについて分類整理する。	

第6回	1、万葉仮名・平仮名・片仮名 2、万葉・古今・新古今の桜歌と現代桜歌の鑑賞	事前学習	教科書を熟読し、万葉仮名、平仮名、片仮名について概観しておく。
		事後学習	万葉仮名、平仮名、片仮名についてまとめる。
第7回	1、ローマ字の綴り方・現代表記の原則 2、万葉・古今・新古今の桜歌と現代桜歌の比較・分類	事前学習	教科書を熟読し、ローマ字について概観しておく。
		事後学習	ローマ字の歴史や訓令式、ヘボン式、日本式のローマ字の特徴についてまとめる。
第8回	1、語や語彙の意味、語構成と造語法、語彙の意味関係 2、万葉・古今・新古今の桜歌と現代桜歌の共通点	事前学習	教科書を熟読し、語彙について概観しておく。
		事後学習	語構成と造語法についてまとめる
第9回	1、学校文法①「文の構造・用言」 2、俳句鑑賞、俳句作り	事前学習	教科書を熟読し、文の構造や用言について概観しておく。
		事後学習	品詞分類し、各品詞の性格をまとめる。
第10回	1、学校文法②「自立語・付属語」 2、互選句会の開催	事前学習	教科書を熟読し、自立語と付属語について概観しておく。
		事後学習	自立語と付属語についてまとめる。
第11回	1、正しい敬語表現1 2、アーノルド・ローベル「お手紙」を劇化するためのシナリオ作成	事前学習	教科書を熟読し、接遇表現について概観しておく。 小学校学習指導要領解説国語編の「C読むこと」を読んでおく。
		事後学習	敬語の種類をまとめる。 文学作品の指導で重要な事項についてまとめる。
第12回	1、正しい敬語表現2 2、アーノルド・ローベル「お手紙」を多人数参加劇にリメイクしたシナリオ作成	事前学習	教科書を熟読し、敬語表現に対する疑問点を概観しておく。
		事後学習	敬語表現に対する疑問点をまとめる。 多人数参加劇へのリメイク方法についてまとめる
第13回	1、書写指導の実際 2、書写の作品制作	事前学習	小学校学習指導要領解説国語編の書写に関する事項を読んでおく。
		事後学習	姿勢・道具の持ち方・字形・筆順等まとめる。書写の作品を仕上げる。
第14回	1、方言と共通語 2、「書く力」「読む力」を育成していくための指導の工夫	事前学習	プリントを熟読し、方言と共通語に関して概観しておく。
		事後学習	方言と共通語の課題と課題解決のための方策をまとめる。
第15回	1、国語・書写の振り返り 2、確認のためのレポート作成 3、総括 4、期末試験	事前学習	小学校学習指導要領「国語」・幼稚園教育要領「言葉」・保育所保育指針「言葉」について重要な事項を読んでおく。
		事後学習	小学校学習指導要領「国語」・幼稚園教育要領「言葉」・保育所保育指針「言葉」に沿って学習を振り返る。